

# 長崎新聞

県産紙宣言。  
12  
2009年 創刊120周年

発行所  
長崎新聞社  
〒852-8601  
長崎市茂里町3-1

**電子号外**



# ノーベル化学賞に下村脩

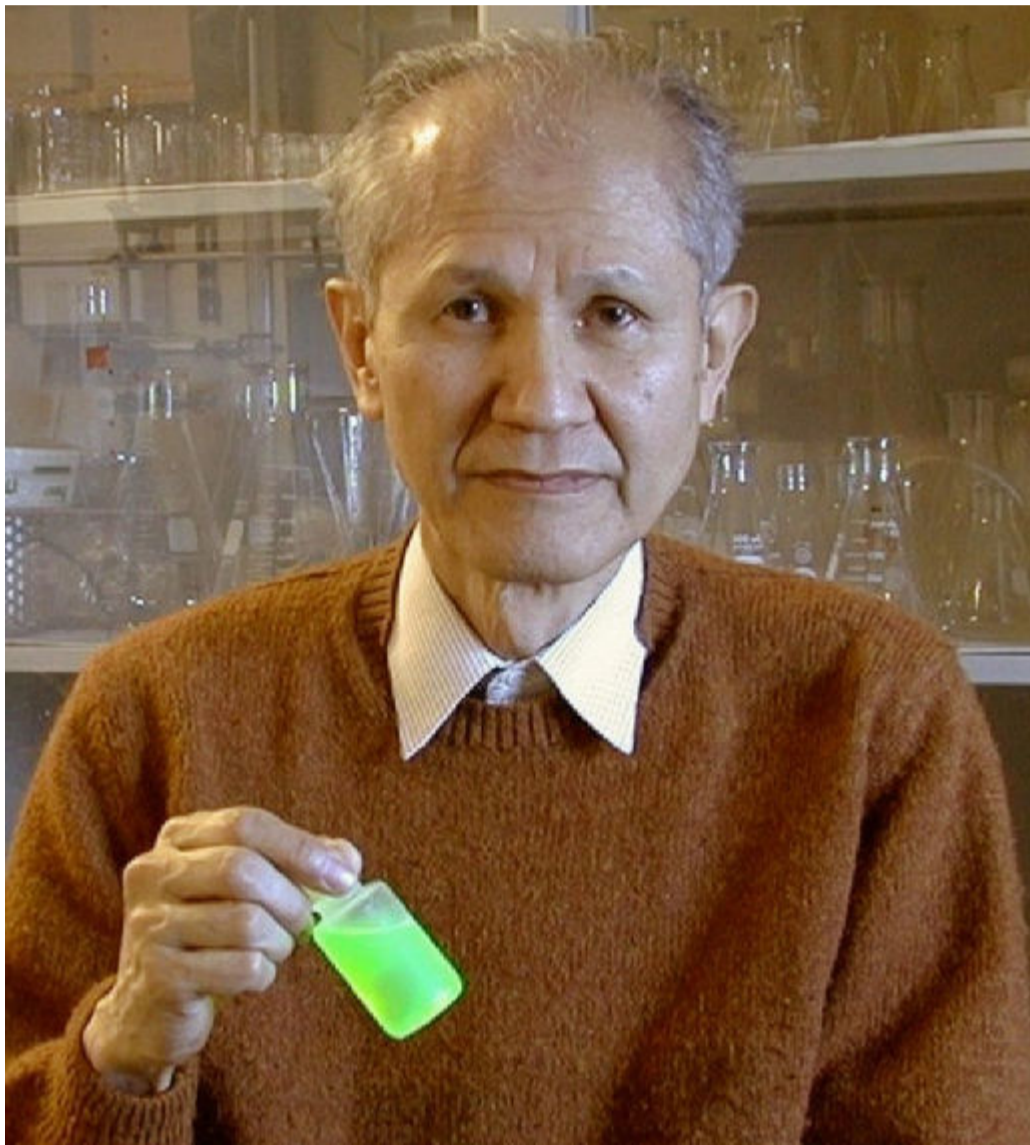
## 長崎大薬学部卒

### クラゲの蛍光タンパク発見

スウェーデンの王立科学アカデミーは8日、2008年のノーベル化学賞を、飛躍的に発展している生命科学分野で不可欠な“道具”となっている緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見者で、米マサチューセッツ州在住の下村脩(しもむら・

おさむ)ボストン大名誉教授(80)ら3人に授与すると発表した。

下村氏は1928年、京都府生まれ。陸軍将校の父に従い、幼少期を満州、大阪などで過ごし諫早市へ。16歳で長崎に投下された原爆を体験した。51年長崎医大薬学部門部(現長崎大薬学部)を卒業した。名古屋大の故・平田義正名誉教授の研究室で博士号を取得し、60年にフルブライト留学生として米プリンストン大へ。61年夏、ワシントン大フライデーハーバー研究所に滞在中に、紫外光を当てると、その光を吸収して緑色に輝き出すGFPをオワンクラ



オワンクラゲから精製した緑色蛍光タンパク質(GFP)の入った小瓶を手にする下村脩氏

ゲから発見した。

日本人のノーベル賞受賞は、7日に物理学賞受賞が決まった南部陽一郎・米シカゴ大名誉教授、

小林誠・高エネルギー加速器研究機構名誉教授、

益川敏英・京都大名誉教授の3人に続く快挙で、

受賞者は計16人となった。化学賞は02年の田中耕一・島津製作所フェロ

ー以来で5人目。

授賞式は12月10日にストックホルムで開かれ、

賞金1000万クローナ

(約1億4000万円)が3人に与えられる。

(ストックホルム8日共同)

**詳しくは9日付の長崎新聞で**

購読申し込み

0120-374673

HP 龍~なが

www.nagasaki-np.co.jp